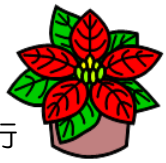
白石小学校だより

山口市立白石小学校
第　８　号
２０１８.１２.３発行



うれしかったこと・困ったこと…　先生に教えてくれるかな？
～教育相談週間がありました～

運動会・大いちょうバザール・音楽会と大きな行事が続きました。そんなときは特に子どもたちからの「気になるな！」「何かあったのかも」「どうして？？」等々、こころのサインが見えることもあります。１１月は教育相談週間がありました。担任の先生を中心に放課後、一人ひとりとお話をしています。友だち同士のトラブル勉強や生活のこと、仲間関係の悩み、悪口をいわれた…など様々です。

悩みだけでなく、うれしいこと、がんばっていることも話題となります。また友だちからのいじわる、いじめなどの未然防止、早期発見も大切にしていきます。

しっかりと子どもからの話を受け止め、共感や指導、助言、はげましを進めていきたいと考えています。学校で気づかないことや不十分なことなどもあると思います。

ご家庭でもお気づきがありましたら、ぜひお知らせくださいませ。

笑顔いっぱいの学校生活、いじめの未然防止と早期発見に向けて
学校の教職員もがんばります。

１　子どもの様子をみるアンテナの感度を上げること
２　「いじめの芽」でも、「やられたから…」でも、どういけないかを共感と納得感をつくりながら指導すること
３　一人ひとりの子どもによさを言葉で伝えることと共に、必要とされる場をつくってやること　　の三つを学校のがんばりの柱としています。

特に三つめについてですが、**人の究極の幸せ**は、

①人から愛される（優しくされる）こと　②人から褒められること
③人の役に立つこと　　④人から必要とされること

の四つと言われます。

つまり、人を幸せにし、自分が幸せに向かうには、
①人に優しくすること ②人を褒めること ③人に感謝すること ④人を必要とすること
なのですね。

子どもたちの生活には仲間同士の楽しさだけでなく、いろいろないさかいやがまんなどもあると思います。そのような経験を重ねながら、笑顔いっぱいの学校生活といじめの未然防止に向けては、この四つを子どもたちに少しずつでも渡すこと、この四つを子どもと一緒にささやかでも実践することを軸として進む学校・教職員でありたいと思います。

保護者並びに地域の皆様も、ご協力とご支援を是非よろしくお願いいたします。

校　長　藤　永　靖　彦